

彙 報

会長 井 上 和 子

昭和58年度第3回常任委員会

日 時：9月10日（土）午後1時30分～5時

場 所：ICU, ERB-247

出席者：井上和子（会長），池上二良，日下部文夫，田村すゞ子，湯川恭敏

欠席者：4名（いずれも委任状あり）

オブザーバー：松本克己（編集委員長），村木正武（事務局）

議事ならびに報告：

- （1）第87回大会について（研究発表の選定，プログラムの決定等）。
- （2）昭和58年度会計の中間報告。
- （3）第88回大会開催校について。
- （4）沖縄研究奨励賞，朝日賞候補者の推薦についての報告。

昭和58年度第2回委員会

日 時：10月15日（土）午前10時30分～12時20分

場 所：神戸大学文学部文化学研究棟会議室

出席者：井上和子（会長），池上二良，今津藤一，岩本 忠，日下部文夫，小泉保，古浦敏生，近藤達夫，崎山 理，澤田治美，柴谷方良，清水克正，庄垣内正弘，杉藤美代子，関本 至，竹内和夫，田村すゞ子，野元菊雄，林 栄一，蛭沼寿雄，堀井令以知，前田富祺，松本克己，矢島文夫，山末一夫，湯川恭敏，吉田金彦（以上27名）

欠席者：委任状あり34名

オブザーバー：服部四郎（副会長），笈 寿雄（第87回大会運営委員長），村木正武（事務局）

前会長故川本茂雄氏の冥福を祈って黙禱する。

議事ならびに報告：

- (1) 第3回常任委員会の報告。
- (2) 第88回大会は、1984年6月9日(土)、10日(日)、慶応大学(三田校舎)で行ない、鈴木孝夫氏が運営委員長となる。
- (3) 昭和58年度上半期の収支報告。
- (4) 委員選出。
 - a. 東洋学研究連絡委員会委員(任期 昭和59年4月1日～62年3月末日)

池上二良 (次点者：北村 甫, 次々点者：田村すゞ子)
 - b. 語学文学研究連絡委員会委員(任期 昭和59年4月1日～62年3月末日)

北村 甫 (次点者：崎山 理, 次々点者：田村すゞ子)
 - c. 九学会連合理事(任期 昭和59年6月1日～62年5月末日)

野元菊雄 (次点者：崎山 理, 次々点者：田村すゞ子)
- (5) 編集委員長松本克己氏から『言語研究』の投稿規定の次のような改正が提案され、意見が求められた。
 - a. 「講演要旨は10枚以内」を削除する。
 - b. 「欧文の場合はタイプ600行以内」を「欧文の場合はダブルスペースで25枚以内」に改める。
 - c. 「書評・紹介は30枚以内」は「書評論文は30枚、書評紹介は15枚以内」とする。
 - d. 「研究発表要旨は4枚以内」は「研究発表要旨は1枚以内」とする。
 - e. 「15. 抜刷は論文・書評・紹介については20部までを無料で、別に本誌1部までを無料で、要旨については本誌1部を呈する」を、「15. 抜刷は論文・書評・紹介については20部までを無料で、別に本誌1部を無料で呈する」と改める。

研究発表要旨の原稿の枚数は、2枚とする意見が13名、1枚とする意見

が10名、4枚のままとする意見の者3名であった。また、ハンドウトを
プリプリントとして一冊にすることを望む意見もあった。

(6) 制度検討委員会委員長 小泉 保 氏から、制度検討委員会の中間報告が
あり、委員の意見が求められた。

- a. 事務局のあり方
- b. 委員会の定員
- c. 会長の選挙, 任期, 副会長の性格等
- d. その他

前会長・現副会長服部四郎博士が11月3日文化の日に、永年にわたって日本
の言語学の発展のために尽くされた功績により、文化勲章受章の栄誉を受けられ、
その祝賀会（発起人代表井上和子会長）が、12月10日東京会館において開催さ
れました。

第87回大会

期 日 昭和58年10月15日（土）・16日（日）

会 場 神戸大学

第1日（10月15日）

開会の辞

公開講演 “Impersonal bilingualism and ethnocultural
stereotyping in Japanese commercials” H. Haarmann

「アイヌ語の「受身」と受身文の記述について」 柴谷 方良

会員懇親会（午後5時30分より）

第2日（10月16日）

研究発表（午前9時30分～12時15分）

。 A 会 場

(A 1) AS 構文の考察 岩崎 康文

(A 2) ESP と英語語順の歴史的発達 本城 二郎

(A 3) A Logico-Semantic Analysis of Locative PPs 菅山 謙正

in English

(A 4) ジャロ語の敬遠語 角田 太作

(A 5) 南部中国語の音節末閉鎖音 岩田 礼

。 B 会 場

(B 1) アブダクションから見た分裂病の言語 有馬 道子

(B 2) 敬語使用の男女差——人物に対する心理的距離と
表現の丁寧度とのズレ 川崎 晶子

(B 3) 埋め込み文の主語理解に関する言語理解の発達 黒田 純平

(B 4) 「一である」構文の文法 益岡 隆志

(B 5) 「ある」のシンタックス 井口 厚夫

会員総会 (午後1時15分～1時30分)

研究発表 (1時30分～4時45分)

。 A 会 場

(A 6) 共通日本語の動詞活用形の具象形式 今津 藤一

(A 7) 仙台方言の Basic melody について 平河内健治

(A 8) Government and Syntactic Percolation 大石 正幸

(A 9) 形態規則と項構造 入部 兼治

(A10) 対格言語における能格型表現について 吉村 公宏

(A11) 文法における語形成規則の位置づけ 影山 太郎

。 B 会 場

(B 6) 使役構造と受身文：説明的語形成の理論の試み 阿部 泰明

(B 7) 日本語動詞のアスペクトについて 金子 亨

(B 8) 文章(談話)における接続——文頭の接続形式に
ついて 広瀬 正宜

(B 9) 日本語疑問助詞のスコープについて 田窪 行則

(B10) 日英語の文照応と副詞・副詞句 高見 健一

(B11) 言語接触の説明一般化に対する初歩的質問——
「アルタイ基層・南島上層」の場合 芝 丞

閉 会

◇ 物故会員

川本 茂雄 (昭和58年8月1日逝去)

古山 真一 (昭和58年8月12日逝去)

◇ 受贈図書リスト (昭和58年6月16日～昭和58年10月31日)

アジア・アフリカ言語文化研究所 東京外国語大学要覧

(東京外国語大学アジア・アフリカ研究所 1983)

音声の調音と知覚 (篠崎書林 1983)

カナノヒカリ ダイ 731-735 ゴウ (カナモジカイ 1983)

計量国語学 第14巻 第1-2号 (計量国語学会 1983)

研究紀要 第4巻 第1号 (広島女子大学 1983)

研究報告集 4 (国立国語研究所 1983)

研究論集 No. 38

(関西外国語大学図書館. 関西外国語短期大学図書館 1983)

研究論叢 第7巻 第1-2号 (東亜大学学術研究所 1983)

言語学演習 (東京大学文学部言語学研究室 1983)

言語の世界 (「言語の世界」編集委員会 1983)

- 現代表記のゆれ (国立国語研究所 1983)
- 考古学雑誌 第68巻 第4号 第69巻 第1号 (日本考古学会 1983)
- 国語学 133-134 (国語学会 1983)
- 国立民族学博物館研究報告 第8巻 第2号 (国立民族学博物館 1983)
- 国立民族学博物館国内資料調査委員 調査報告集 4
(国立民族学博物館 1983)
- 史苑 第43巻 第1号 (立教大学史学会 1983)
- 宗教研究 第57巻 256-257 第1輯—第2輯 (日本宗教学会 1983)
- 人類学雑誌 第91巻 第3号 (日本学会事務センター 1983)
- 朝鮮学報 第百七輯 (朝鮮学会 1983)
- 通信 第47-48号 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1983)
- 東京外国語大学論集 33 (東京外国語大学附属図書館 1983)
- 東方学 第66輯 (東方学会 1983)
- 東洋音楽研究 第48号 (東洋音楽学会 1983)
- 東洋学報 第64巻 第1・2号 第3・4号 (東洋文庫 1983)
- 名古屋学院大学外国語教育紀要 No. 8
(名古屋学院大学外国語教育研究センター 1983)
- 新潟大学教育学部紀要 第24巻 第2号 (新潟大学教育学部 1983)
- 日本学士院紀要 第38巻 第1-3号 (日本学士院 1983)
- 日本学術会議月報 第29巻 第5-9号 (日本学術学会事務局 1983)
- 日本民俗学 145-147 (日本民族学会 1983)
- 放送文化 7-10 (日本放送協会 1983)
- みんぱく 7-10月号 (国立民族学博物館 1983)
- 山形女子短期大学紀要 第15集 (学校法人富沢学園山形女子短期大学 1983)
- 山口国文 第6号 (山形大学人文学部国語国文学会 1983)
- Alsed* (UNESCO 1983)
- ArOr* (ORIENTAL INSTITUTE ČSAV 1983)
- BULLETIN OF THE SCHOOL OF ORIENTAL AND AFRICAN
STUDIES* (SCHOOL OF ORIENTAL AND AFRICAN STUDIES 1983)
- CHINESE WRITING? CHINESE VOCABULARY? Vol. III Vol. III. IV
(Dr. NGUYEN HOAI NHAN 1983)
- CURRENT CONTENTS OF ACADEMIC JOURNALS IN JAPAN
(CENTER FOR ACADEMIC PUBLICATIONS JAPAN 1981)
- KAMMU PHONOLOGY AND MORPHOLOGY
(LIBER FORLAG KARTOR LAROMEDEL TRYCK 1983)